

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

令和6年度 事業報告

第Ⅰ 概 要

福岡県における令和7年3月の有効求人倍率は1.2倍で雇用情勢の改善がみられるとともに、現状では、人手不足の状況も認められている。国は、少子高齢化対策の一環として、令和6年9月に「高齢社会対策大綱」を閣議決定した。シルバー人材センター事業（以下、「シルバー事業」という。）は、その一翼を担うものとして、地域社会で果たす役割はますます重要になると考えられる。

令和6年度の実績を振り返ると、公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会（以下、「連合会」という。）では、四半期ごとに各シルバー人材センター（以下、「センター」という。）が作成したPDCA管理表の確認や数字を踏まえた県内の好事例の紹介、その他各種の事業に取り組んだ。令和6年度末の会員数は23,439人で前年度比▲151人（0.6%）と残念ながら全体会員数は減少したが、女性会員数の増加など今後につながる成果も見られる。公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下、「全シ協」という。）が示した「新たな仲間づくり計画～10万人の増加を目指して！～」を目標に引き続き会員拡大の取り組みを強化していきたい。

安全・適正就業に関しては、令和6年度の全体事故件数は290件で、過去最多の事故件数となった令和5年度からは106件の減少となったが、令和5年度以前の件数と比較すると大差はなく、依然として高水準で事故が発生している。引き続き事故原因の分析と安全対策に取り組んでいく必要がある。

県内における請負・委任の契約金額は、平成23年度以来13年振りに100億円を超えた。一方で、これまで順調だった派遣事業の伸びには鈍化が見られたが、この要因としてはコロナ関連の就業依頼の終了などが考えられる。

令和6年11月には、福岡県医師会と連合会が地域医療機関における人手不足解消をひとつの目的に協定を結んだ。シルバー事業における新たな就業分野として、会員育成や就業開拓などに取り組むたい。

令和6年11月1日には、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス法）が施行され、会員に対して就業条件の明示等を行う義務がセンターに課せられたため、業務のデジタル化と運用の見直しなどが進められた。これに伴い、厚生労働省からは契約方法を見直す方針が示され、連合会では新たな契約方法に関する情報提供や研修を行うなど、移行に向けた準備を行った。これから移行するセンターが増えるため、更なる支援を進めていく。

第Ⅱ 事 業

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

〔就業開拓提供等事業〕

（1）受託事業（一般）

請負又は委任による就業の支援を関係法令に基づき行うとともに、「臨時的かつ短期的」、「その他軽易な業務」に関し就業の機会を確保するために新たな事業の創出や仕事の開拓を行い受注の促進を図った。

① 広域需給調整

地域ニーズや発注者ニーズの多様化により広域的な需給調整の必要が生じている。しかしながら、各センターの作業単価や受注できる業務の違いなど、広域受注には種々の問題がある。派遣では広域受注を行っている職種もあり、請負においても必要に応じて県内のセンターが対応できる体制を支援した。

② 未設置地域の解消

福岡県及び近隣センターと連携して、未設置町村に対しセンターの設置を促進した。

(2) 受託事業（業務委託）

国及び地方自治体の意向に沿って、企画公募型入札等への参加や随意契約により、地域高齢者の就業の場の確保に努めるとともに、当該受託事業に関連した会員や地域と一体となつての活動及び子育て等を応援し、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

(3) 独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他軽易な業務」に係わる地域独特の事業の創出による高齢者の生きがいの充実及び地域活性化に資する事業を支援した。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係わる就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

(1) シルバー派遣事業

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、実施センターと連携・協力して、派遣会員の円滑な就業の促進を図り、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者の登録を推奨し、シルバー派遣事業を積極的に実施した。

(2) 職業紹介事業

「臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務」に係わる求人・求職を受け、センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供・相談・助言等を行い、職業紹介事業を実施した。

(3) 雇用・就業の促進

民間企業、各種団体など的高齢者の雇用や就業についての情報を収集・提供し、高齢者の雇用及び就業の推進を図った。

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するため、普及啓発事業等及び情報の提供、安全・適正就業事業、研修・講習事業、指導・助言等事業、調査研究事業を実施した。（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

会員の増強や就業機会の拡大を図るため、県内全域の家庭、企業、公共団体等を対象とした、身近で気軽に利用し相談しやすいコーナーを設置、その効果を上げるため全センター共通の広報用品を作成し配布した。

(2) 社会参加活動

連合会は、高齢者の多様な就業・社会参加ニーズに対応した総合的な就労支援センターとして、就業等に関する相談・情報等を収集・提供するとともに、センター会員によるサークル活動等を通してボランティア活動など地域に寄与、貢献する活動を活用した地域環境の整備あるいは子育て支援、学童見守り等、地域に歓迎される活動を促進し、高齢者の社会参加を支援した。

(3) 地域交流活動

地域の活性化推進グループ等と連携し、地域行事や会議等へ積極的に参加し交流の輪を広げることを支援した。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

シルバー事業の就業について「安全は全てに優先する」との理念のもと安全・適正就業対策委員会による組織的な活動を行った。

安全就業の啓発を目的に委員による現場パトロールを実施、安全就業の徹底と安全意識徹底を指導・助言した。

(2) 適正就業の推進

適正就業は、ガバナンス（内部統制）及びコンプライアンス（法令遵守）の確立を目指し、高齢法で定める「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」をローテーション就業によるワークシェアリング（仕事の分かち合い）で実施すること等を徹底するため、適正な就業について、研修会等を開催した。また、指導・相談業務等を通して就業の適正化に努めた。

3 指導・相談事業

(1) 法令遵守の業務運営

地域のニーズ及び関係法令等に的確に対応した事業展開及び円滑に事業を実施するために適宜情報の収集・提供を行い指導・相談・助言を行うとともに、知識・企画力の向上を図るための支援を行った。

(2) 適正な財産運用

公益事業活動の拡充に努め、地域社会の信頼を得るとともに、事業の拡張を図るため、センターが保有する財産等の管理について、センター事業の経理・業務等全般について実地検査を行い、適切な助言、指導を実施した。

(3) 就業相談及び入会説明会への支援

地域高齢者及びセンター会員等の来訪、電話等による、就業及び入会等に関する相談の助言等を行った。

(4) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

各ブロックでセンターが抱える事業運営上の課題や問題点等について連合会職員を派遣し、相談・助言及び指導等を行いシルバー事業の適正な運営を図った。

4 研修・講習等事業

センターをめぐる社会環境の急激な変化に伴い、自立した運営の重要性の認識と人材の育成を目的とした研修会や講習会を開催した。

また、様々な仕事に携われる会員の育成や多様化するシルバー事業に供する事業に対

応するよう、高齢者の知恵と技を生かすセミナー、高齢者のサポート等に関する研修会等、センター役職員・会員及び職員や一般高齢者を対象とした研修会を開催した。

(1) 技能講習等事業

一般の高齢者を対象に、雇用及び就業のための技術・技能の習得・向上を目指し講習を行った。

(2) 研修事業

センター役職員や実務担当職員等を対象に運営上の諸課題について理解と知識の付与を目的に研修・講習会を実施した。

5 調査研究事業

センターを取り巻く社会環境の変化にともない、高齢者の雇用・就業の状況や多様化する発注者ニーズ等の情報を収集しセンター事業の統計・分析に活かし、全国のシルバー事業の好事例等及び社会参加活動等に関する情報を収集し周知を図った。

また、公益社団法人としての運営上の諸課題、法人の維持及び公益事業等について調査研究を行った。

第Ⅲ 個別実施事業

1 会員拡大・就業機会開拓

(1) センターと連合会の連携

会員拡大・就業機会開拓に関する担当者等に対し、会議や研修会の機会を通じ情報収集や提供を行った。

- ・「会員拡大だより」を四半期ごと（6月、8月、11月、3月）に発行

(2) 女性会員の拡大及び女性活躍推進

① 女性会員拡大については、女性を重点とした入会促進と併せて女性の就業ニーズに対応した新たな就業先について情報収集を行った。

② 女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会の設置

- ・女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会を設置し、下記の通り活動を行った。

	月 日	場 所	協議内容
第1回	8月 7日（水）	県中小企業振興センター	要綱、委嘱状交付、今年度の取組みを検討等
第2回	12月12日（木）	県中小企業振興センター	県内センターグループ別会員交流会の状況報告、意見交換等
第3回	2月26日（水）	県中小企業振興センター	会員交流会の最終報告、今年度の取組みの総括、今後の展開を検討等

- ・女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会委員で各地シルボンヌ大会に参加した。

月 日	名 称	参加者
11月19日（火）	シルボンヌ全国大会 IN 埼玉	委員 2人 連合会 2人
11月14日（月）	やまぐちシルボンヌフェスティバル（地方大会）	委員 5人 連合会 2人

③ 女性会員、役職員を主な対象とした会議（研修）

女性事務局職員を対象とした研修会を開催した。

- ・女性活躍促進研修会（事務局職員対象）

月 日	実施内容等	場所・参加人数
9月25日(水)	①講演「シルバー人材センターの転換期にあたって私たちが果たす役割とは？」 講師：大木町SC事務局長 猿渡 知子氏 ②シルバー事業のおかれている状況 ③グループ別活動 (会員交流会に向けた企画・検討等)	県中小企業振興センター 51人

④ 女性会員交流会を開催

42SCを6グループに分け、女性事務局職員の企画運営により開催した。

SC構成	月 日	場 所	内 容	参加者
大野城市、久留米市、福岡市、春日市、志免町、糸島市、須恵町	1月29日(水)	大野城 まどかびあ	「なんちゃって梅ヶ枝餅づくり」と題し、餅作りを通じた交流と意見交換	会員17人 職員12人
小郡大刀洗広域、筑紫野市、朝倉市、太宰府市、筑前町、嘉麻・桂川、うきは市	12月10日(火)	朝倉市SC	県知事指定特産工芸品に指定された朝倉市SCの独自事業「甘木絞り」体験を通じた交流と意見交換	会員17人 職員7人
北九州市、築上町、苅田町、豊前・上毛、行橋市、みやこ町、田川地区	11月18日(月)	コムシティ 黒崎	北九州市SC西部出張所の小物販売売上増に伴う事例発表とショップ視察、意見交換	会員19人 職員10人
福津市、宮若・小竹、中間市、岡垣町、宗像市、直方市、遠賀町	12月19日(木)	メイトム 宗像	各センターの就業事例発表、苔玉作り体験、各センターお手製品を飲食しながら意見交換	会員16人 職員9人
粕屋町、那珂川市、篠栗町、久山町、古賀市、飯塚市、新宮町	12月13日(金)	休憩処 とまり木	飯塚市SC運営の食堂で、名店から継承したぜんざいの試食と各センターの取り組み発表	会員15人 職員9人
筑後市、大川市、大牟田市、みやま市、大木町、八女広域、柳川市	11月27日(水)	みやまっくす	職員考案のオリジナルレシピで、どら焼き作りを通じた交流と意見交換	会員17人 職員9人

(3) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等のマスコミやインターネットを活用して、会員の入会促進、仕事の受注、会員活動、派遣事業、研修・講習等の情報を広報した。

① 連合会事業活動の広報

- ・ホームページやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等での情報提供
- ・機関誌「シルバー連合会ふくおか」の発行
25,000部を作成し、各センターへ配布（2月）
- ・リーフレット、チラシ、啓発用品の作成・配布
普及啓発用品として、メモ帳50,000冊、リーフレット12,000部を作成し、各センターへ配布（10月）

- ・オリジナルカレンダー6, 100部を作成、各センターへ配布（11月）

② 入会促進やシルバー事業の広報活動等の実施

- ・新聞、市町村広報紙、インターネット、SNS等による広報活動等を実施した。
- テレビ西日本主催の「ロックンロウゴ Fes2024」に出展し広報活動を実施

日 時	場 所	実 施 内 容
8月8日（木） 10:00 ～17:00	エルガーラ ホール （天神）	シニア層をターゲットとしたイベント ・会員の手作り作品を展示販売 ・普及啓発用品の配布、TV中継等による事業の広報 ・来場者アンケートを実施（回答数144）

- ・テレビCM、ラジオCMによる周知広報（年末年始）

放送方法	日 程	放送局	本数
テレビ	12月28日～1月4日	TNCテレビ西日本	14本
		RKB毎日放送	12本
ラジオ	12月30日～1月3日	KBCラジオ	20本

- ・FBS福岡放送30秒PRにて周知広報 3月24日
- ・Web広告活用による周知広報
SNSを利用し、シルバー事業のイメージアップと新規会員募集を図るため、Yahoo!ブランドパネルにて福岡県内・シニア世代をターゲットにテレビCMを配信 掲載期間：2月20日～28日
- ・全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間におけるセンター及び連合会が連携した広報活動の実施
- ・連合会長・センター理事長連名による支援要請活動の実施
県庁を訪問し、福岡県知事及び福岡県議会議長へ要請行動を実施 11月18日
- ・女性や企業退職（予定）者層を意識した入会促進のための広報活動の実施

（4）社会参加活動の推進

- ① 各地域でのボランティア活動を推進した。
- ② 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。
・福岡県医師会と「地域医療の確保及び高齢者の健康・生きがいのための就労等に向けた連携に関する協定」を締結（11月）し、セミナー等情報提供を実施

（5）地域交流活動

- ① 市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り県内全地域へ交流活動の輪を広げた。
- ② 県内の商工会議所等の経済団体や連合福岡等の労働団体と連携を深め、就業の場の拡大や会員拡大を図った。

（6）独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

- ① 実施センターへの助言・相談等の支援
- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介
地域の特性を生かした事業を情報提供（飯塚市SC、朝倉市SC）

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」との理念のもと就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

① 安全・適正就業対策委員会の開催 (年間3回)

- ・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討

回数	月 日	場 所	内 容
第1回	4月17日(水)	県中小企業振興センター	今年度事業の確認(パトロール、安全大会、表彰推薦等)
第2回	6月 7日(金)	県中小企業振興センター	安全大会における標語・優良センター表彰の検討等
第3回	3月12日(水)	県中小企業振興センター	今年度まとめ、来年度実施事業計画案の検討等

② 安全・適正就業パトロールの実施、改善指導

- ・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施(原則5年に1回)

年間9回

回数	月 日	センター名
1	5月 8日(水)	宮若・小竹SC
2	5月22日(水)	うきは市SC
3	6月 4日(火)	筑前町SC
4	9月11日(水)	春日市SC
5	9月25日(水)	豊前・上毛SC
6	10月 9日(水)	福津市SC
7	10月23日(水)	小郡大刀洗広域SC
8	11月 6日(水)	篠栗町SC
9	11月20日(水)	久山町SC

- ・安全・適正就業対策委員会による就業現場打ちパトロール(未実施)
- ・重大事故発生時の緊急パトロール、現場検証の実施(重大事故なしのため未実施)
- ・緊急安全・適正就業対策委員会の開催(重大事故なしのため未実施)

③ 安全就業促進大会の開催

7月31日(月) 福岡東市民センター なみきホール 339人参加

【実施内容】

- ・安全標語、安全優良センター表彰(8作品、5SC)
- ・安全・適正就業対策委員会報告

講演等	テーマ	講師
事例発表	重大事故再発防止のための取り組み	春日市SC 安全・適正就業対策委員会 委員長 井上 悦夫氏
安全講話	予測運転の徹底	JAF福岡支部 セーフティアドバイザー 田中 至道氏
記念講演	知っておくと役に立つ、元気に働ける3つの心がけ	産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室 助教 谷 直道氏
安全就業宣言		宮若・小竹SC 安全・適正就業対策部会 委員長 吉崎年一氏

- ④ 安全だよりの発行 毎月発行

(2) 適正就業の徹底

① 安全・適正就業推進員研修会の開催

令和7年2月12日(水) 県中小企業振興センター 48人

② 適正就業の相談、助言、指導 (適時実施)

令和6年12月5日(木) 新宮町SC安全パトロール助言・指導

③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援

・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等を支援した。

月 日	内容	場所	参加人数
6月27日(木)	篠栗町SC安全就業促進大会	オアシス篠栗	44人
7月12日(金)	行橋市SC安全就業促進大会	行橋市中央公民館	30人
10月19日(土)	柳川市SC安全就業促進大会	柳川総合保健福祉センター	100人
2月 7日(金)	うきは市SC安全就業促進大会	うきは市民センター	54人

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績(4月～3月末)

就業実人員	就業延人員	契約金額
3,161人	279,239人日	1,480,777,698円

(1) シルバー派遣事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進

11月12日(火) 県中小企業振興センター 30人

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) シルバー派遣事業運営体制の充実・強化

実施事務所(センター)が行う業務に関する支援

・実施事務所(センター)に対する指導・相談の実施

(3) 法第39条に基づく業務拡大の促進

・法第39条に基づく業務拡大についてセンターの意向を踏まえ拡大を図った。

(4) 人手不足分野(介護・子育て等)及び現役世代を支える分野の就業促進

・介護施設、保育園等の就業開拓支援

(5) 産業保健活動(安全衛生・健康管理)等の対策

労働安全衛生法に基づき労働安全衛生体制の充実・強化を図った。

・派遣会員が常時50人以上の実施事務所(センター)における衛生管理者、産業医の配置及び衛生委員会の設置を順次、進めた。

・衛生委員会開催(毎月)

① 福岡市 ② 北九州市 ③ 宗像市・福津市合同

4 独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

① 実施センターへの助言・相談等の支援

- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

5 職業紹介事業の実施

事業実績（４月～３月末）

（実施事務所：福岡市・福津市）

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
9 件	0 人日	0 人日	30 人	897,347 円

（１）有料職業紹介事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する有料職業紹介責任者講習の受講促進

10月17日（木） 県中小企業振興センター 29人

（２）有料職業紹介事業の運営体制の充実・強化

センターに対する指導・相談の実施

6 指導・相談事業

（１）指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について指導・助言等を行った。

① センター事業の実施状況等に関する情報収集と必要な助言の実施

② 公認会計士・弁護士・社会保険労務士と顧問契約を締結し、専門家による助言が受けられるようにした。

③ 全シ協からの依頼に基づき福岡労働局・福岡県・連合会（顧問公認会計士による指導を含む。）合同の会計及び業務に関する指導・相談を実施した。（原則３年に１回）

回数	月 日	センター名	場 所
1	9月13日（金）	八女広域SC	センター会議室
2	9月18日（水）	飯塚市SC	センター会議室
3	9月19日（木）	行橋市SC	センター会議室
4	10月16日（水）	うきは市SC	センター会議室
5	10月24日（木）	田川地区SC	センター会議室
6	10月30日（水）	荏田町SC	センター会議室
7	12月13日（金）	大牟田市SC	センター会議室
8	12月17日（火）	築上町SC	センター会議室
9	12月18日（水）	みやま市SC	センター会議室
10	12月19日（木）	太宰府市SC	センター会議室
11	1月 7日（火）	大川市SC	センター会議室
12	1月 9日（木）	宮若・小竹SC	センター会議室
13	1月10日（金）	大木町SC	健康福祉センター会議室
14	1月16日（木）	筑紫野市SC	センター会議室
15	1月17日（金）	朝倉市SC	センター会議室
16	1月22日（水）	糸島市SC	センター会議室

（２）就業相談及び入会説明会への支援

① センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等に関する随時相談の実施

② 「福岡県生涯現役チャレンジセンター」内に「センター相談窓口」を設置、センターの職員を派遣し、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

- ・「福岡県生涯現役チャレンジセンター」内相談窓口の開設 週2日（月・水）

（３）各地域（ブロック）への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会が行う研修活動経費の支援を行うとともに、研修講師等として連合会職員の派遣を行った。

- ・県内４ブロック協議会の研修活動等に対する支援と連合会職員の派遣

月 日	研修会名	場 所	参加人数
9月19日（木）	筑後ブロック理事・事務局長研修会	ハイネスホテル久留米	88人
11月 7日（木）	筑後ブロック業務担当職員研修会	フレアス甘木	23人
11月20日（水）	筑紫・糸島地区福祉・家事援助会員研修会	春日市ふれあい文化センター	24人
12月 6日（金）	京築地区経理担当者研修会	リブリオ行橋	6人
12月 6日（金）	筑紫・糸島地区業務担当職員研修会	春日市ＳＣ	16人
2月15日（土）	北九州ブロック役職員研修会	京都ホテル	62人
2月21日（金）	京築地区業務担当者会議	豊前市総合福祉センター	23人
3月 6日（木）	筑後ブロック会計担当職員研修会	八女広域ＳＣ	17人

7 未設置町村へのセンター設置の推進

センター未設置の6町村に対して高齢者の就業活動促進のため、センターの設置を働きかけた。

[未設置市町村（宇美町、芦屋町、水巻町、鞍手町、東峰村、吉富町）]

- ・県内及び他都道府県のセンターの活動状況の提供
- ・センター設置のメリットの説明

7月30日（水）宇美町 事業運営相談対応及び情報交換

8 研修事業

センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施及び資質向上を目指し、研修会を実施した。

① 役職員研修会

※定時総会後に開催

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
6月18日（火）	「作業を安全に進めるため管理者としての心構え」 講師：A&Cたかくら（株）高倉 剛氏	県中小企業振興センター 会場86人

② 理事長研修会

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
2月28日（金）	「フリーランス法適用の重要性、契約方法の見直しへの対応について」 講師：明倫国際法律事務所 鶴 利恵氏	県中小企業振興センター 40人

③ 監事研修会

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
2月21日（金）	「公益法人運営、監事の役割、監査業務等について」 越智公認会計士事務所 越智 大 氏	県中小企業振興センター 25人

④ 職員研修会

【会計実務研修会】

月 日	講演テーマ	場所・参加人数
11月28日（木）	「補助金の管理、税務等について」 「契約方法の見直しに関する会計実務の留意点について」 講師：衣目公認会計士・税理士事務所 公益法人統括マネージャー氏原 謙一 氏	県中小企業振興センター 79人

9 調査研究等事業

（１）高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

① 福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情報の収集・分析を行い、センター及びハローワーク等の関係機関へ情報提供を行った。

② 80歳を超えても活躍できる就業環境等の創出の検討とセンターへの情報提供

（２）業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況・受注件数・事業実績等について調査、集計し業務年報を作成、各自治体及び関係機関・団体等へ配布した。

・業務年報300部を作成、配布（10月）

（３）シルバー事業におけるデジタル化の推進

デジタル社会の到来を踏まえ、シルバー事業においても、デジタル技術を活用した事業展開を図り、利用者の利便性の向上や業務の効率を図っていく必要がある。このため、センターにおけるスマホ教室やパソコン講座の開催などを推進するとともに、会員向けのマイページ機能の構築や Web 入会システムの導入等デジタル技術を活用したセンターにおける業務の効率化を推進した。

（４）シルバー事業推進計画の策定

中長期計画であるシルバー事業推進計画について、次期（令和7年度から令和11年度まで）計画を策定した。

シルバー事業推進計画策定委員会を設置し、下記の通り、開催した。

	月 日	場 所	内 容
第1回	8月27日（火）	中小企業振興センター	要綱、委嘱状交付、推進計画の内容検討等
第2回	10月21日（月）	中小企業振興センター	推進計画（案）の説明、項目ごとの検討等

第3回	12月23日（月）	中小企業振興センター	推進計画（案）の説明、項目ごとの検討等
-----	-----------	------------	---------------------

10 寄附金募集

公益活動について寄附金募集の啓発を行った。

第Ⅳ 委託事業

1 高齢者活躍人材確保育成事業

・セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、①高齢者や企業に対して、センターの積極的な周知・広報を行うとともに、②就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深めることや、③高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、センターの会員拡大及び新たにセンターを活用する企業等の増加を図った。

（ア）事前会議の実施

事業の趣旨や事業の目的等を説明するため、センターの担当職員を対象にした会議を開催した。

4月11日（木）オンライン開催

（イ）普及啓発の実施

会員拡大や就業機会の開拓のため会員募集や技能講習・就業体験、セミナー等の周知広報のため、リーフレット・チラシの作成・配布及び新聞広告・新聞折込、生活情報紙、フリーペーパー、経済団体機関紙、テレビ等による広報を実施した。

① 新聞、雑誌による周知広報

技能講習会、就業体験、セミナーの開催にあたり、西日本新聞、毎日新聞（半2段）（39回）、フリーペーパー・新聞折込広告等生活情報誌（48回）に告知広告を掲載した。

② 自治体の広報紙による周知・広報

技能講習会、就業体験、セミナーについて、開催地等の地方公共団体の広報誌に掲載した。（41回）

③ テレビCMによる周知・広報

・10月14日～11月10日 KBC13本、FBS9本、テレQ15本
計37本放映

・3月1日～3月21日 FBS23本、RKB32本 計55本放映

①～③の広報活動による新規入会者数 90人

（ウ）説明会

・高齢者向けセミナー

（計2回）

講習名	予定回数 (回)	定員 (人)	開催数 (回)	参加者数 (人)
ドライフラワーで作るスワッグ	1	10	1	11
手作り飾りで祝いましょう	1	10	1	10
合 計	2	20	2	21

(エ) 就業体験

・高齢者向け

(計6回)

講習名	予定回数 (回)	定員 (人)	開催数 (回)	参加者数 (人)
障子・網戸張替	1	10	1	12
学童サポートスタッフ	1	10	1	9
農業体験	2	25	2	25
放課後児童クラブ研修	1	10	1	10
刃物研ぎ	1	10	1	12
合 計	6	65	6	68

(オ) 技能講習

・講習科目

(8科目)

高齢者家事サポーター、刈払機、剪定・チェーンソー、チェーンソー（特別教育）、調理補助、ハウスクリーニング、マンション管理、福祉車両送迎運転者講習

・講習回数

(計31回)

・講習定員（10人から15人程度）

(計415人)

講習名	予定回数 (回)	開催数 (回)	参加者数 (人)	新規入会者数 (人)
高齢者家事サポーター	7	7	69	13
刈払機	6	6	78	21
剪定・チェーンソー	5	5	70	18
チェーンソー（特別教育）	2	2	31	1
調理補助	4	4	34	8
ハウスクリーニング	4	4	56	13
マンション管理	2	2	25	8
福祉車両送迎運転者講習	1	1	10	3
合 計	31	31	373	85

(カ) 参加者等に対するアンケートの実施

事業で実施する就業体験等において参加企業や参加者に対しアンケート調査を行った。また、結果を集計・分析し、センター及び連合会の会員拡大、就業機会開拓等に活用するとともにセンターに対しても情報提供を行った。

(キ) 企業等ニーズ調査の実施

企業等事業者のシルバー事業に対するニーズ、高齢者の雇用実態等の把握のため調査・分析を実施した。

対象企業数：500社

調査期間：10月8日～11月15日

調査方法：質問紙調査法による郵送調査

発送数 (件)	回収先 (件)	回収率 (%)
500	182	36.4

報告書にまとめ、センターに配布した。

2 福岡県高齢者子育て支援推進事業

県から「福岡県高齢者子育て支援推進事業（ふくおか子育てマイスター事業）」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびセンター事業の活性化を図った。

① 子育てマイスター認定研修等の実施

- ・ふくおか子育てマイスター認定研修会 (年間4回)

地 域	場 所	実 施 期 間	修了者数
福 岡	ふくふくプラザ	9月 2日～ 9月30日 (うち7日間)	34人
飯 塚	イイヅカコミュニティセンター	10月 3日～10月24日 (うち7日間)	13人
久留米	久留米シティプラザ	11月 1日～11月22日 (うち7日間)	32人
北九州	八幡西生涯学習総合センター折尾分館	12月 1日～12月20日 (うち7日間)	39人

- ・フォローアップ研修会 (年間4回)

回数	講演テーマ	開 催 地	月 日 (参加者数)
第1回	みんなで子育て応援 ～できることって何だろう～	飯塚市	1月16日 (木) (38人)
第2回	こどものおもちゃ学入門	福岡市	1月23日 (木) (57人)
第3回	わらべうたで遊ぼう	北九州市	1月24日 (金) (31人)
第4回	食育ってなあに? 「食べる＝生きる」 ことって楽しい	久留米市	1月29日 (水) (35人)

② 普及啓発活動の推進

- ・「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と連携し、福岡県高齢者子育て支援推進事業（県からの受託事業）を幅広い層へ広報、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓
- ・子育てマイスター認定研修会開催案内等のチラシの作成・配布
認定研修会案内等チラシを5,000部作成し各センター、関係機関等へ配布（7月、8月）
- ・関係機関を訪問しての子育てマイスター事業の周知・広報
関係機関（図書館、子育て支援センター、社会福祉協議会等）を197ヶ所訪問

③ 社会参加活動の推進

- ・子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。
求人依頼件数 140件 成立人数 137人
- ・子育てマイスターの更なる活躍を目指し、活動先の開拓やマッチングの強化を図った。
子育て支援団体等への電話開拓 58件 訪問開拓 158件

④ 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

- ・子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施
アンケート調査を実施 118人
- ・子育てマイスターに対する活動状況調査の実施
活動状況調査を実施 935人